

乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2024年3月5日 No.472 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

非核日本キャンペーンがスタート 「核兵器禁止条約への日本の参加」を求めての共同を 核兵器のない世界を実現しよう

乙訓平和委員会は、被災70周年となった2024年3.1ビキニデーをオンラインで視聴しました。京都平和委員会理事長の片岡さんも出席して5人で、原水協集会を視聴しました。

核兵器禁止条約発効から3年の成果

批准国・地域は70、署名国・地域は93に達しています。発効後、条約に基づき締約国会議が2回開催され、昨年11月末に第2回会議が開かれました。日本原水協からも代表団が参加して、会議成功に貢献しています。第1回締約国会議で決まった「ウイーン行動計画」の具体化も議論され、世界の核被害者（被爆者、ウラン採掘の労働者、核実験での被害者など、幅広い被ばくの影響を受けた

人々など）の救済と、環境回復などを具体的に進めることが始まっています。そのための基金を国際社会の協力で作ることも決まり、その具体化への議論が進んでいます。

「原水爆禁止署名」の原点に戻っての運動をロシアのウクライナ侵略戦争やイスラエルのガザ地区攻撃などで、核保有国とその同盟勢力は核抑止力論で核軍拡に走っています。核禁条約の流れに大逆流を生んでいます。しかし、イスラエルはハマスの侵入を防げなかったことで、核抑止論が幻想であり破綻が証明されました。これらの核抑止力論を打ち破り、核禁条約に参加する日本の実現を目指して、非核日本キャンペーンが提案されました。3月1日から、広島長崎への原爆投下から80年目の2025年8月末までがキャンペーン期間です。このキャンペーンでは、ビキニ被ばく事件で国民の中から自主的に起こった原水爆禁止署名運動に学んで、各地で独創的に取り組むことが提案されました。

乙訓原水協は3月理事会で、この提起を受けて、乙訓での具体化に向けて知恵出しすることとしました。

（写真と文責：米重節男）

（2面に別記事）



3.1ビキニデー29日の集会の乙訓視聴会

「私も自由研究するぞ！」

私の学校では、昨日は自由研究の発表の日でした。中学3年生が半年あまりかけて準備してきた研究を10人くらいの同級生の前で発表をします。その後、質疑応答などがあります。私も10人の担当した生徒たちの発表を聞きました。彼らのテーマは多岐にわたっていました。若い彼らの関心の幅の広さに思いを深めました。

「スマートボールの確率」「無限のパラドックス」「愛犬のしつけ」「競走馬の先祖を調べる」「QRコードとICタグ」「ゲームにおける運指」など。

発表が終わってから、私だったら何をするかな？と考えていました。およそ次のテーマを考えました。

- ①ピタゴラスの定理(今、授業で行なっている)は身の回りで何に 응용されているのか？
 - ②自分の家から学校まで自転車(徒歩)で行く場合の最短コースはどの道か？
 - ③あいみょんの曲はスピッツや浜田省吾に似ているという。どこが似ているのか？
 - ④今はしきりに減塩と言われるが、逆に今の日本にいる人は元気がない理由を塩が足りていないという人もいる、どちらが正しいのか？
- このような感じの4つのテーマに絞りました。

もしこだわるとしたら、健康面を考えて④ですかね。

先日、近所の方にたくわんをいただきました。(下にイラストを！)

その後に疲れているとき、何かけらかかじると不思議と元気になるのです！

食べ過ぎはいけませんが、実はたくわんは漬物で、塩を多く含んでいる。ということは、「塩って身体に大事なのかも」と思ったわけです。

これを知り合いの方に伝えたら「海塩」と塩を教えていただきました。海塩はミネラルを含んでいて、その方はお子さんの水筒に少しその海塩を入れて、送り出されるそうです。これから私も「塩にも」注目するぞ！(今は味噌や大豆に一番興味あり)

(24.02.16)



24.2.16